

続・ふるさと こぼれ話

般若寺跡(ビク寺)

第68回

文・写真
大谷津忠一

芳賀町の芳志戸になぜ徳川10代將軍の墓があるのか？謎である。タイムマシンがあればのぞきに行きたいものだ。

この場所を地元では「ビク寺」と呼んでいる。女性のお坊さんはビク二と呼び、男のお坊さんをビクと呼ぶことから、般若寺は男の寺と考えられる。ビク寺には、県指定文化財「般若寺跡碑塔」が6基ある。結界石を含めると7基になる。寺への入り口には結界石が1基、奥へ進むと「宝塔形納経塔」田安宗武卿の供養塔、さらに進むと「五輪塔納経塔」がある。これが、徳川10代將軍徳川家治公の供養塔である。

そしてこれらを建立したのが、田安宗武卿の8女で10代將軍家治公の養女になられた種姫である。家治公と種姫は、いとこ同志だったが、年齢差があつたため養女となつた。

この五輪塔納経塔の前に2基の宝塔形納経塔がある。向つて右側が種姫付の御本丸官女森野のもの、左側が同じく御本丸官女戸崎のものである。この2人の碑塔があることが五輪塔納経塔の主が種姫だとか月光院だとか言われるゆえんではないか。また、推測ではあるが、右奥にある無名の五輪塔は、も



▲家治公五輪塔

しかししたら御本丸官女二人の墓ではないだろうか。五輪塔納経塔は、種姫が家治公の遺命どおりに天明8年8月26日に建立された。この塔下には種姫らの写経のほかに家治公の遺髪と爪が2箱に納められたと記録されている。

般若寺跡は、芳賀町が自慢できる史跡です。ご覧になったことがない人は、ぜひ一度見学してください。



しまたがしの 芳賀の自然

20



ヤマトシジミ チョウ目シジミチョウ科

(写真提供=芳賀町自然に親しむ会)撮影場所:町内
分布=本州以南
生息地=平地から山地
時期=4月~11月(発生:5回/年)
食性=カタバミなど(広範囲)
大きさ=開張(羽を広げた最大値)25~30mm
特性=雄は羽表がくすんだ紺色、裏側は雌雄とも薄い灰色で小さな黒斑が散らばる。本種は町の中や水田地帯で一般に見られる。幼虫で越冬する。

編集後記

□すっかり秋も深まり、朝の寒さに冬の足音が聞こえます。日の出の時間も遅くなり、私が出かける時間はまた薄暗いままです。□しかし、まだまだ芸術の秋、スポーツの秋！8日に町民祭と梨の里マラソンがあり、私はカメラを抱えて走り回っていることでしょ。一緒に町民の皆さんと楽しめるよう、天気の良いこと祈っています。ぜひ参加してくださいね。(K)



▲陶壁「ケヤキ」(町民会館)

- 編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
- 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- 芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp

📱芳賀町の携帯サイトはコチラから➡



この印刷物は、ESPAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
ESPA: 環境保護印刷推進協議会
http://www.e3pa.com